**IGT日本語版（カード版）の手続き**

|  |  |
| --- | --- |
| **段階** | **行うこと** |
| 事前の準備 | * カード束の順番を確認する。A,B,C,Dそれぞれの束について，カードを裏にして1が一番上に来るよう，番号順に合計100枚（1-40→1-40→1-20）並べる。 * シートのA，Ｂ，Ｃ，Dの文字が大きい方を被験者側に向けて置く。各カードの束を被験者側に向けて置く。 * シートの上に「獲得額」を示すバーを置く。緑色，赤色がそれぞれ「200,000円」をさすところまでバーを動かしておく。 * 記録用紙をコピーしておく。被験者から見えない位置で記入できるようセッティングする。 |
| 被験者入室 | * 倫理的配慮の説明・同意書への記入 など施設ごとに必要な手続きを行う。 * 記録用紙に日付，ID，検査者名，被験者の利き手を記入する。 |
| インストラクションの提示 | * 「では，これからカードゲーム課題を始めます。」 * 被験者に「インストラクション」を手渡し，「これは，ゲーム課題のルールが書かれたものです。ここから順番に，最後まで読んで下さい。」と伝える。※1 * 「何か質問はありますか？」と尋ねる。インストラクション内の内容であれば，かみ砕いて教示する。それ以上のことであれば，「ゲームを進めていくとわかります。」と伝える。   ※１：被験者が文字を読むことが苦手であるなど，何らかの理由で，検査者が読み上げる必要があると判断した場合には，検査者が読み上げ，その旨を記録用紙に記録しておく。 |
| IGT実施 | * 「それでは，カードを一つ選んで指さして下さい。」と伝える。  |  | | --- | | 1. 被験者が指さしたカードを，検査者がめくる。 2. めくったカードを被験者の前（ボード上の，グレーの長方形の上）に，被験者の方を向けて置く。 3. 選択した束（A,B,C,Dのいずれか）を記録する。 4. 選択されたカードの束の「試行回数の記録」欄に，試行回数（1~100を順番に）を記録する。 5. 試行回数を記録したあと，当該カードの緑色の増減（1mm, 2mm, 4mm, 6mm, 8mm, 10mm, 46mmのいずれか）をチェックし，そのとおりに動かす。動かす距離は「バーの下にある目盛り」，「金額と距離の早見表」，及び「尺」を適宜用いる。  * 特に46mmや80mmを動かすときには「尺」を用いると素早くできる。 * 「赤色も動かす場合」がまれにある。それは，緑のバーが０になるような罰がきた場合である。赤色を現地点から+80mm,　緑色を現地点から+80mm動かしたのち，当該カードの緑色の減指示をチェックしてそのとおりに動かす（これは，被験者の手持金額が足りなくなったため，追加して200,000円貸し付けたことを意味する）。  1. ②で被験者に見せるために置いたカードを検査者の手元に戻し，裏を向けて重ねる。 |   上記を100回くりかえす。 |
| IGT終了後 | * + 「ゲームが終了しました。実験へのご参加，ありがとうございました。」と伝える。   + 記録シートの“③選択した束を記録”の欄に記入もれがないか確認する。もれがある場合は検査者の手元にある100枚のカードの順番を確認して記入する。 |